

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 都町第1教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<ul style="list-style-type: none"> ・「5つの療育クラス」に基づき、偏りのないプログラムをねらいを持って計画・実施できている。 ・お子様の発達段階や特性、ニーズに応じた配慮ある支援を行うことができている。 ・プログラムに多様性があり、お子様が興味を持って参加しやすく、楽しく継続して通える環境が整っている。 ・高学年のお子様が多く、長期間継続してご利用いただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で確認ミーティングを行い、「5つの療育クラス」が偏りなく提供できるよう意識し、活動のねらいや目的を共有しております。 ・お子様一人ひとりの発達段階や特性、当日の様子を踏まえ、無理のない参加方法や声掛けを工夫することで、それぞれに合った支援となるよう取り組んでおります。 ・お子様が興味を持って主体的に参加できるよう、活動内容や進め方に変化を持たせ、楽しさを感じながら経験を積み重ねられるよう工夫しております。 ・高学年のお子様については、年齢や成長に応じた関わりや役割づくりを意識し、安心して長く通い続けられる環境づくりに努めております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員を含め、支援の質を一定水準に保つため、育成制度や事例検討の機会を増やし、職員間での学びをさらに深めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見や要望を、個別支援計画や日々の支援に反映できている。 ・学校や相談支援事業所等の関係機関と適切に情報共有を行い、助言を支援に活かしている。 ・保護者との日常的な連絡や定期的な情報共有が円滑に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの際に話し合った内容については、必要に応じて保護者様へお伝えし、ご家庭との認識のズレが生じないよう取り組んでおります。 ・送迎時や電話、LINE、HUG等を活用し、保護者様との日常的な連絡が円滑に行えるよう努めております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様や関係機関との連携をさらに強化するため、定期的な情報共有や必要に応じた面談・連絡を行い、家庭・学校・事業所が支援の目標や関わり方について共通理解を持てるよう、支援内容のすり合わせを進めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼/終礼を通じて、職員間で日々の振り返りや情報共有が行われている。 ・課題や意見を出しやすい職場環境が整っている。 ・研修や内部監査、安全計画に基づく訓練等を通じ、支援の質向上と業務改善に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな変化や気づきも含めて情報共有を徹底し、職員間で支援方針を確認・統一することで、一貫した支援を実施しております。 ・研修や事業所ポリシーで学んだ内容を、日々の支援の中で意識的に活かすよう取り組んでおります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や勉強会への参加を継続し、発達支援や行動理解、虐待防止等に関する知識・スキルの向上を図ってまいります。

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
<p>お子様にとって分かりやすく安心して過ごせる環境づくり（構造化された環境や物理的・心理的な安全面）について、十分に整えきれていない部分がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室がクールダウンスペースとして十分に機能しておらず、お子様が安心して気持ちを落ち着かせる環境を確保できていない。 ・物品の整理・収納が十分に行き届いておらず、支援環境の構造化や業務効率の低下につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室をクールダウンスペースとして整理・整備し、用途を明確にした環境づくりを行います。 ・物品の配置や収納場所を見直し、誰が見ても分かりやすい環境構成を行います。
<p>日々の支援を行う上で、時間帯や状況によっては、支援に必要な職員配置が十分に確保できていない場合がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・添乗業務を含め、時間帯や状況によっては職員数が十分に確保できず、安全面の確保が難しい場面が生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容や時間帯ごとの人員配置を見直し、安全を最優先とした支援体制の構築を進めます。 ・添乗業務時の役割分担や支援方法について、職員間での共通理解を図ります。
<p>非常時にお子様の安心と安全を守る体制が十分に整っていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や訓練は行っているものの、実際の場面を想定した行動に対する不安が残っている。 ・振り返りで課題は挙がるが、具体的な準備や改善策の検討・共有が十分に行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時対応について、具体的な場面を想定した訓練やシミュレーションを繰り返し行い、職員の行動イメージを明確にします。 ・訓練後には必ず振り返りと改善点の共有を行い、実際の対応力向上につなげていきます。